

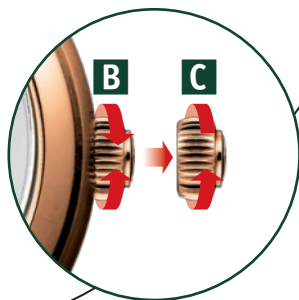
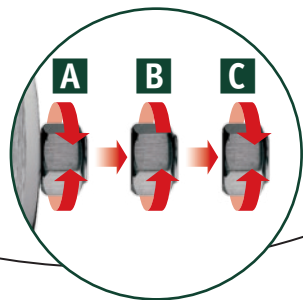
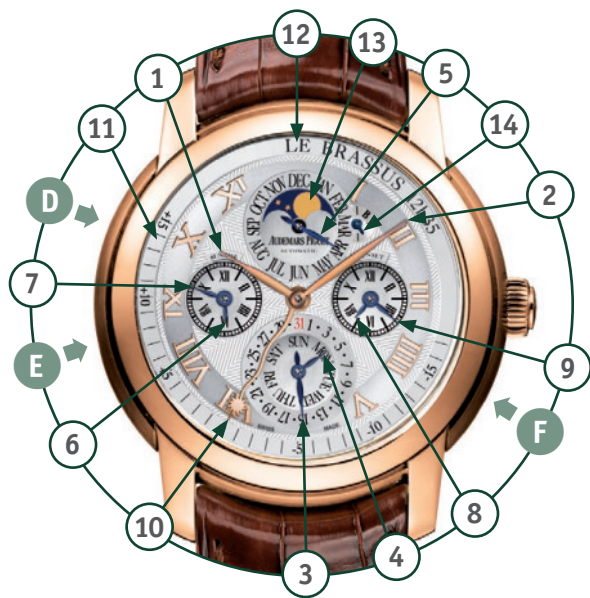


Instructions for use
Mode d'emploi

EQUATION OF TIME

Calibre 2120/2808
Selfwinding

AP
AUDEMARS PIGUET
Le maître de l'horlogerie depuis 1875



日本語

使用説明書の目次はインタラクティブになっています。

読みたい項目のタイトルもしくはサブタイトルをクリックしてください。

目次に戻りたい場合は縦に配された白いインデックス「日本語」をクリックしてください。

1. イントロダクション 259ページ

オーデマ ピゲ マニュファクチュール

概論

2. 時間について 266ページ

タイムゾーン

時間の単位

カレンダー

地球座標

3. 時計の仕様について 272ページ

基本ムーブメント

ムーブメントの技術仕様

特徴

時計の表示と機能

4. 表示の見方 276ページ

永久カレンダー

天文月

均時差

真正午と平均正午

日出・日没時間

5. 基本的な機能 288ページ

時刻合わせ

時間帯の調整

ムーブメントの巻き上げ

永久カレンダーの表示合わせ

時計が止まったときの修正 (3日以内の場合)

時計が止まったときの修正 (4日以上の場合)

修正の仕方

1. 日付、曜日、月および閏年

2. 月相

3. 曜日

4. 日出・日没時間および均時差

5. 時刻合わせ

6. 付属品 293ページ

ワインディング ボックス

修正器具

7. 備考 295ページ



オーデマ ピゲ マニュファクチュール

時計製造技術の発祥の地、ジュウ渓谷

ジ ュネーブの約 50 km 北、スイス・ジュラ山脈の中に、今日までその自然の魅力を保っている地域、ジュウ渓谷があります。この山岳地帯は気候が厳しく、土壌も痩せていたため、この地に根を下ろした人々は 18 世紀の中頃に、農業以外の収入の道を探すことを考えました。コンビエと呼ばれたこの土地の人々は、手先の器用さと新しいものを創造する力、また不屈の精神を活かして、時計製造業へと発展していくことになりました。

こうして作られたムーブメントは質が高く、ジュネーブの企業に大変な好評をもって迎えられ、完全な時計に仕上げられたのでした。

1740 年以降、ジュウ渓谷のみで時計製造業は自立した産業として発展することができるようになりました。このとき以来、この地域は、ある年代記の 1881 年の項に記されているように、「急速に発展を遂げた桃源郷」へと変貌したのです。

偉大なる冒険に挑んだ2つの名前

1

1875年、複雑時計の製作に情熱を傾ける2人の若き天才時計職人、ジュール＝ルイ・オーデマとエドワール＝オーギュスト・ピゲが、高級時計産業が盛んな地、ジュウ渓谷で2つの才能を集結させ、複雑機構を搭載した時計を開発・製作しようと決意しました。2人の決意、想像力、そして規律の正しさで、ただちに成功を収めました。1885年ごろ2人はジュネーヴに支店を構え、1889年のパリ万国博覧会の際には様々な超複雑懐中時計を発表して拡大を続けます。オーデマ・ピゲのマニュファクチュールは年々と発展を続け、例えば1892年には初めてのミニッツリピーター機能付きの腕時計、1915年にはそれまで実現されたことのない5分単位ミニッツリピーター機能を備えた最小ムーブメントを製作するなどして、高級時計産業の歴史を彩ってきました。

1918年からは、創設者の息子たちが事業を受け継いでいます。男性用、女性用の腕時計の製作に卓越した技術を発揮し、極薄の洗練された新しいムーブメントを作り出しています。1929年のウォール・ストリート株価大暴落によって厳しい経営を強いられるものの、粘り強さと信念を持ち続けることで、まずスケルトンと呼ばれる時計の製作を再び軌道に乗せ、その後クロノグラフ付き時計の製造に乗り出しました。しかし、この新しい勢いも、第二次

世界大戦によって突然中断を余儀なくされてしまいます。戦後は再編成をし、マニュファクチュールは、「伝統と革新」を追及しつつ、ハイエンドウォッチの製作に注力。そして特に、クリエイティブの斬新さという方針により、戦略は実を結んだのです。



国際的な成功を収めたオーデマ・ピゲは、1972年にステンレススチールを用いた世界初のラグジュアリースポーツウォッチとして発表され、発売と同時に大きな成功を収めたロイヤル・オークの製作をはじめ、1986年に発表された世界初の自動巻きの極薄トゥールビヨン腕時計などの製作を続けてきました。以来、マニュファクチュールの創造のひらめきは衰えることなく、比類ないムーブメントを備えた独自の美しさを持つ時計を世に送り続けています。こうして80年代末には複雑時計のテイストをコンテンポラリーなものに一新し、1999年には見事なコレクション「トラディション・オブ・エクセレンス」を発表します。伝統に根付いた大胆なスピリットを実現しながら、未来をも約束しています。



概論

超複雑時計の極意は、その技術の秘密と精巧さに即座にすべて明かさないとあります。すばらしく腕の立つ時計職人が何代もかけて磨き上げた技は、才気あふれる精神を持つ者にとっても、そう簡単に把握できるものではありません。類まれなる時計を理解し、その機械工学を解明し、その魅力をとらえるには、確かな技術力を必要とします。

最も大掛かりな複雑機構のひとつであるイクエーション・オブ・タイムは、間違いなく人類の最高のノウハウと技術の結集です。

イクエーション・オブ・タイム（均時差）とは、真太陽時と平均太陽時との差のことです。地球上のある地点における太陽の正確な南中時刻を知るためには、均時差とその場所の経度を知る必要があります。こうしてオーデマ・ピゲは時計製造の歴史を彩るあらゆるイクエーション・オブ・タイムを超えた時計を作りました。こうして作られたイクエーション・オブ・タイムは、時計のオーナーがいる場所での太陽の南中時刻（真太陽時の正午）を示すことができる唯一の時計です。

ル・ブラッシュにあるマニファクチュールに伝わる、永久カレンダー製造ノウハウの長い歴史によって、この快挙は実現されました。1875年の創設以来、オーデマ・ピゲは永久カレンダーを備えた懐中時計を製造してきました。およそ103年後、マニファクチュールは、初めての自動巻き式永久カレンダー装備の極薄腕時計を世に送り出します。こうした長い歴史を経て、イクエーション・オブ・タイムは誕生しました。ジュール・オーデマの永久カレンダーは複雑な閏年のメカニズムを再現できるようにプログラム



されています。自動的にその月の日数（28、29、30あるいは31日）を考慮して動き、修正は2100年2月28日まで不要、しかもその当日の夜に修正ボタンを2度プッシュするだけで済むのです。

搭載されたキャリバー2120/2808の目を見張るまでの複雑さを始めとし、イクエーション・オブ・タイムは二つとない独自性にあふれるタイムピースです。時計持ち主が選んだ場所の正確な座標に合わせてパーソナライズすることができるために、他に類を見ないのです。

イクエーション・オブ・タイムの透明なケースバックからは、自動巻ムーブメントのローターを垣間見ることができます。時計の持ち主のご要望次第で、回転ローターにはスケルトン加工を施したりパーソナライズされたモチーフを掘り込むことができます。しかも、これらの加工は、用いられる技術の制限内で行なわれます。

最も栄光ある時計メカニズムの一つにエモーショナルでパーソナルなタッチを加えることでオーデマ ピゲは、高級時計の歴史に新たな道を切り開きます。イクエーション・オブ・タイムは、その幕開けを飾ります。

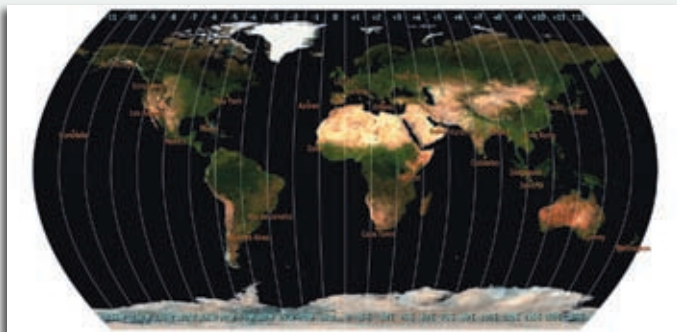


タイムゾーン

地球上のある地点で太陽が子午線上に位置する場合、それは真太陽時における正午です。言い換えれば、地球上の他の地点においてはどこでも、真太陽時の正午（太陽の南中時刻）となる時刻は異なります。東から西へ、あるいは西から東に移動する場合、真太陽時（真のローカルタイム）を正確に把握するには、時計が表示する時刻を絶えず修正する必要があります。

そうすると、人がお互いに関係を持ちながら生活していく上で、場所ごとに異なる真太陽時は不便です。その上、真太陽時は季節によってわずかながら変動もします。

こうした理由により、地球上に15度ずつずらして設定した子午線により、真太陽時の平均、すなわち平均太陽時を計測するシステムが世界中で採用され



24のタイムゾーン

政治的国境に基づくタイムゾーン



ることになりました。こうして地球は、本初子午線を中央に置く24のタイムゾーンに分割されたのです（左図参照）。

グリニッジ天文台を地球の本初子午線とする世界的なタイムゾーン システムの採用が決められたのは、1884年、ワシントンでの国際会議でのことです。英国のグリニッジ子午線は協定世界時（UTCまたはGMT）の基準軸となり、すべてのタイムゾーンはこの軸をベースに表現されるのです。

理論上は、同一経度に位置する場所はすべて同じタイムゾーンに属するはずですが、しかし現実には、各国は政治的国境を主に考慮したタイムゾーンを設定しました（政治的国境に基づくタイムゾーンの図を参照）。

時間の単位

真太陽時の正午（太陽の南中時刻）

真太陽時の正午は太陽が最高点（熱帯地方では天頂）に達し、子午線上に来る時刻です。これは一日の真ん中に相当し、影も最も短くなります。

真太陽日

真太陽日はある地点の経度における南中から次の南中まで、すなわち真太陽時の正午から次の正午までに経過する時間を言います。

真太陽時（真のローカルタイム）

真太陽時は真太陽日を1日とした場合の時間で、太陽の南中時刻が12時ちょうどに相当します。

平均太陽時（時計が表示する時間）

時差とは、ある瞬間における平均太陽時と真太陽時の差です。アナレンマはこの差を表しています。ですから真太陽日は実用的な時間単位として使うことができません。

平均太陽日とは、真太陽日の一年の平均で、1日は24時間となります。平均太陽日は平均太陽時間をベースとします。

イクエーション・オブ・タイム（均時差）

均時差とは、ある一日における平均太陽時と真太陽時との差のことです。この差はグラフ（アナレンマ）によって表されます。

中央ヨーロッパ時間（CET）

中央ヨーロッパ時間はグリニッジ子午線から15度離角した子午線が属するタイムゾーンにおいて計測された平均太陽時です。フランスで時計が表示する時間です。

真のローカルタイムとの差

平均正午とは正午プラス／マイナス ローカルタイムとの差に相当します。この差はベゼルの確認ができます。例えばル・ブラッシュにおける平均正午は毎日12時35分です。その土地での平均正午に均時差の針が示す数値（ここではマイナス）を加算すれば、真正午がわかります。日中、均時差の針と分針が重なるときに確認可能です。



ブラッシュで4月15日には真正午は12:35です（僅時差0分）。平均正午と真正午が同時になります。



ブラッシュで2月11日には真正午は12:49です（僅時差+14分）。

カレンダー

ユリウス暦

ユリウス暦はユリウス・カエサルの名に由来します。彼は紀元前45年に、この太陽暦を採用しました。これは一年を365.25日として計算されますこれに基づき、彼は4年の内、最初の3年を平年、最後の1年を閏年とし、平年の長さを365日としたうえで、閏年の2月に1日を加えることにしました。閏年は4で割り切れる暦年です。

グレゴリオ暦

グレゴリオ暦は、ユリウス暦を修正したローマ教皇グレゴリウス13世の名に由来します。実際、太陽年はユリウス年より約11分短く、400年で3日のずれが出ます。

1582年に、ユリウス年は太陽暦よりすでに10日遅れていました。ローマ教皇グレゴリウス13世はこの誤差を修正し、その年の10月15日の翌日を10月4日にしました。このようなことを避けるために、100で割り切れる年は、400で割り切れない限り、閏年とはしないよう、命じられました。その結果、誤差が3000年につき1日になりました。

閏年

4で割り切れる年は閏年（2月が29日まである年）です。

例：1916年、1920年、... 2008年、2012年、2016年、2020年

100で割り切れる年は、400で割り切れる年を除いて、閏年ではありません。

例：1600年、2000年、2400年

地球座標

子午線

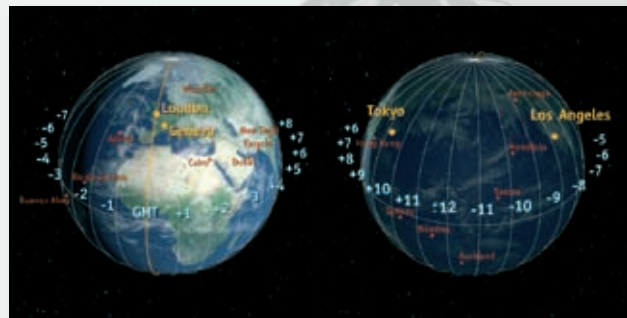
子午線はある地点と、北極、南極とを通り、地球上で大きな円を描きます。1884年、英国のグリニッジ天文台を通る子午線（GMT）が本初子午線とされました。

経度

経度は地方子午線がグリニッジ子午線となす角度です。度数で表されます。グリニッジ子午線より東側の経度は東経（E）で、西側の経度は西経（W）で表します。

緯度

ある場所の緯度は、赤道からその場所までの角距離で、単位は度です。赤道より北側の緯度は北緯（N）で、南側の経度は（S）で表します。



ムーブメント

キャリバー 2120/2808

ブリッジ側



ダイヤル側



ムーブメントの技術仕様

ベースムーブメントの厚さ：2.45 mm

ムーブメントの厚さ：5.35 mm

直径：28.40 mm

振動数：19,800 振動/時 (2.75 Hz)

石数：41

パワーリザーブ (ミニマム)：約 40 時間

双方向回転自動巻

4個のルビー製ローラーの上で21カラットのゴールドローターが回転

変動慣性マスロット使用テンプ

平面スパイラル

可動ヒゲ持ち受け

部品数：425

特徴

エクストラフラット ムーブメント

片持ち式バレル

この自動システムにユニークな効率、耐久性と音色を与える外周リングとルビーのボールベアリングを使った4個のブリッジにより、ローターの高さのクリアランスを確保

手作業で仕上げられたブリッジ (ート・ド・ジュネーブ、面取り加工、エッジにサテン仕上げ、さら穴にペルラージュ装飾)

ゴールド部分と回転錐サポート部に装飾彫刻

メタリック サファイアガラスのムーンフェイズ表示

使用場所に設定した僅時差、日の出・日没時刻表示

ローターはカスタマイズ可

時計の表示と機能 (表紙の裏側にある図解参照)

- ① 時針
 - ② 分針
 - ③ 日付表示の針
 - ④ 曜日表示の針
 - ⑤ 月表示の針
 - ⑥ 日出時を指す針
 - ⑦ 日出分を指す針
 - ⑧ 日没時を指す針
 - ⑨ 日没分を指す針
 - ⑩ 均時差を指す針
 - ⑪ 均時差表示部
 - ⑫ カスタマイズされた都市用のサンライズ・サンセット時刻表示、および南中時刻表示
 - ⑬ ムーンフェイズ表示
 - ⑭ 閏年表示の針
-
- D デイデイトマンス、閏年表示、サンライズ・サンセット表示、イクエーション オブ タイムの修正ボタン
 - E ムーンフェイズ修正ボタン (専用)
 - F 曜日修正ボタン (専用)

この時計は2〜3つのポジションを有するリューズを備えています。

A ねじ込まれた位置のリューズ
(ロイヤル オーク モデルのみ)

B 位置 手巻き

C 位置 時刻合わせ

<注意>ロイヤル オーク モデルでは、リューズを緩めてから調整ポジションに引き出してください。作業後は防水性を保証するために再び**(A)**位置までしっかりと締めてください。



永久カレンダー

オーデマ ピゲは、1925年に製作されたポケットウォッチに着想を得て、永久カレンダー、デイトマンズとムーンフェイズを12時-6時軸に縦一直線に配しました。オーデマ ピゲのリストウォッチとしては初めてのこの時計は、2006年に発表されました。

理論上は2100年3月1日まで修正は一切不要です。修正時には修正ボタンによってデイトの針を2月28日から3月1日に進ませます。これにより、それ以後もグレゴリオ暦にしたがった正しいカレンダーが表示されます。



永久カレンダーと閏年表示

永久カレンダーのメカニズムは全ての表示が12時-6時軸上に配されているために見やすくなっています(12時位置に月とムーンフェイズ表示ダイヤル、6時位置にデイト表示)。永久カレンダーは、その他の複雑機能を連動させます。



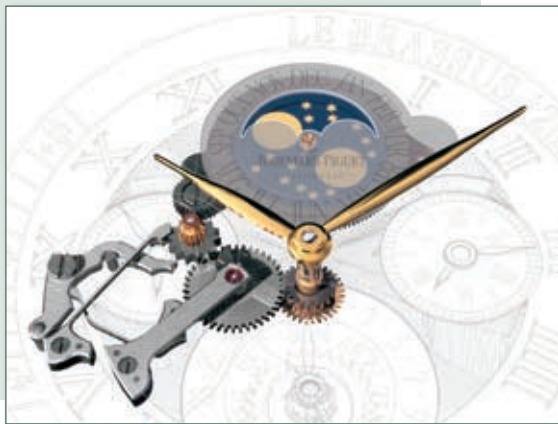
閏年表示の針は1月1日から12月31日までの間で1/4周します。下図の例では、セクター B に針が位置する時が閏年であることを示しています。



天文月

従来の永久カレンダー機能では、月相を2年7ヶ月ごとに調整する必要がありました。オーデマ・ピゲの技術者たちはこの時計に非常に高い精度を誇るムーンフェイズ表示を搭載しました。

修正は122年44日間、一切不要です（修正時は修正ボタンを2度押しするだけです）。



天文月のメカニズム

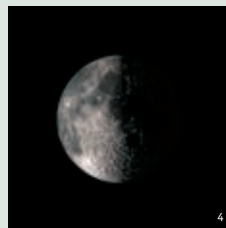
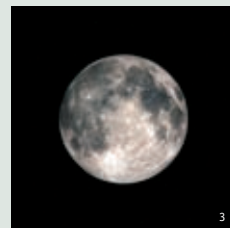
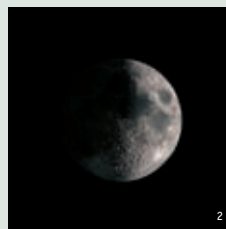
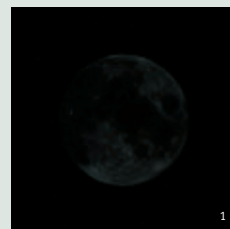
月相（北半球）

月のイラストが見えないときは（1）は新月です。

月の一部が窓の左側に見えるとき（2）は月が満ちる相です。

月のイラストが窓の中央にあるとき（3）は満月です。

月のイラストが窓の右側に見えるとき（4）は月欠ける相です。



太陰月の長さは29日12時間44分2,8秒です。

均時差

ある一日における平均太陽時と真太陽時との差をイクエーション オブ タイム (均時差) と呼びます。

日時計のみが表示する真太陽時は、地球が楕円形の軌道上を公転し、自転軸が傾斜しているため、日によって異なります。平均太陽時はこうした変動は考慮せずに機械的に算出され、1分は正確に60秒とします。1年に4



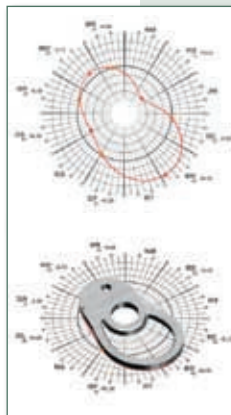
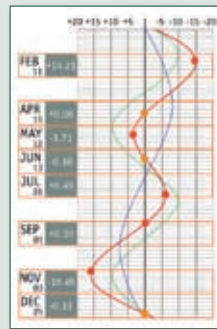
均時差のメカニズム

回、つまり4月15日、6月13日、9月1日および12月25日に平均太陽時と真太陽時が一致します。それ以外の日、たとえば11月3日では16分45秒、2月11日では14分21秒の時差があります。文字盤の中心を軸にした均時差針により、加えるべきまたは引くべき平均時間を正確に知ることができ、真太陽時を知ることができます。

均時差の変動をつかさどるのは豆の形をしたカムです。ベースとなるのは、ヨハネス・ケプラー(1571-1630年)の2つの有名な法則、そして

決定的な影響を及ぼす原則、すなわち地球の軌道面に対する地軸の傾斜 ($23^{\circ}44'$) です。

- ケプラーの第1法則 (楕円軌道の法則) : 惑星は、太陽をひとつの焦点とする楕円軌道上を動く。
- ケプラーの第2法則 (面積速度一定の法則) : 惑星と太陽を結ぶ線分が単位時間に描く面積は一定である。



直動カムの半径はおおよそ1mmと3mmです。この2mmほどの差が時差針の (-16分45秒から+14分21秒まで) 31分16秒の行程を決定します。

均時差のメカニズムでは、どの地点にいてもカムは同じです。フランジ上の針と表示のみが、それぞれの経度座標を示すために、異なる方法で調節されています。

表示されている時間は、常に世界共通の冬時間に相応しています。

真正午と平均正午

真正午が何時に起きるかを腕時計で数日間続けてチェックすると、その差がよくわかります。一年を通じて見て行くと**真正午**は**平均正午**かその前、または後に起きています。この平均正午と真正午の間のプラス／マイナスの差を均時差と呼びます。

「L'Équation du temps」は**真正午**を正確に表示します。ル・ブラッシュ(6°12'0")における**平均正午**は「L'Équation du temps」のベゼルの12:35 CET (中央ヨーロッパ時間) の位置に記されています。均時差の針は一年を通じその日の均時差分を足すか引くかして**真正午**を表示します。太陽が真上にくるのは分針が均時差針と重なる瞬間です。太陽時がローカルタイムで正午となる時、それは**真正午**です。

では一年を通じて真正午がどのようなかを見てみましょう。2月11日にル・ブラッシュで太陽が真上に来ていると太陽時が示す時、その時刻は12:49 CET (中央ヨーロッパ時間) です。分針は均時差針と重なり、均時差の値はプラス14分であることがわかります。

4月15日にはル・ブラッシュでは真正午は12:35に起きます (均時差は0分)。真正午と**平均正午** (「L'Équation du temps」のベゼルに記載) とが一致します。

11月3日にはル・ブラッシュでは**真正午**は12:19 CET (中央ヨーロッパ時間) に起きます。均時差はマイナス16分です。



ル・ブラッシュで2月11日には真正午は12:49 pmです



ル・ブラッシュで4月15日には真正午は12:35 pmです

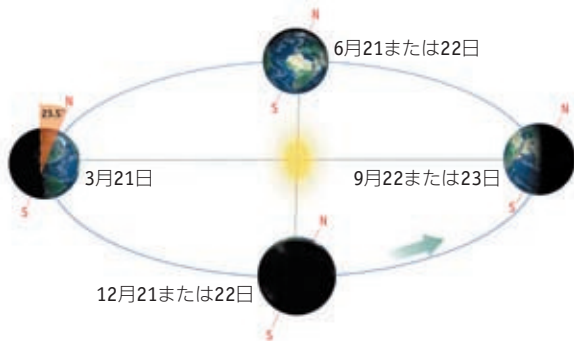


ル・ブラッシュで11月3日には真正午は12:19 pmです

日出と日没

赤道を除き、昼と夜の長さは季節によって変動します。

春分（3月21日）と秋分（9月22または23日）は、昼と夜の長さが同じです。北半球では、夜は夏至の日（6月21日または22日）に一年で最も短く、冬至の日（12月21日または22日）に最も長くなります。

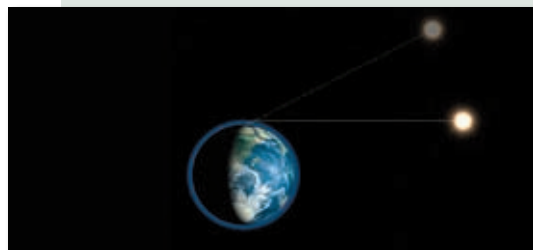


春分・秋分と夏至・冬至

私たちは水平線で日出・日没を認識していますが、実は錯覚しているのです。

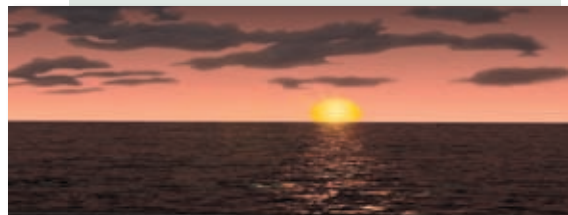
大気中で光屈折が起こるため、太陽が水平線に沈みかけていると見えるときも、実際には太陽はすでに水平線の下に完全にかくれてし

まっているのです。この光屈折は、湿度や気温によって変化します。



大気内での太陽光線の光屈折

この時計の表示は、海面高度での日出・日没に相応しています。観察者が見ている地平線が山でさえぎられている場合、太陽の真高度は高くなります。そのため、日出・日没が見える瞬間は数分から数十分変わります。

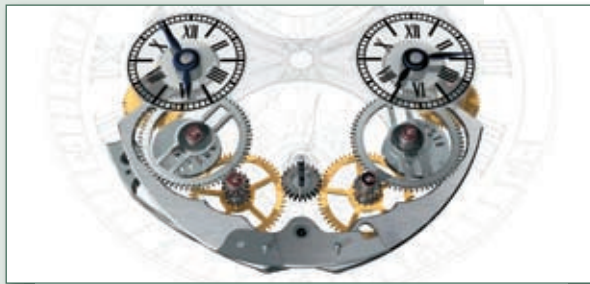


文字盤に示されている実際の日出の瞬間

9時・3時位置に配されたイクエーション オブ タイムのサブダイヤルは、その時計がカスタマイズされ、フランジに名前が刻まれた都市が位置する経度の、海拔0メートルにおけるサンライズ・サンセット時刻を一年を通して表示します。その際にダイヤルに表示される時刻は常に法定時刻です。示されている時刻は常に冬時間に相当します。

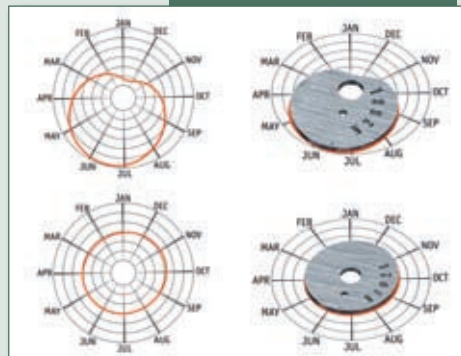


日出 / 日没を示す針は、2-3分の差で、太陽が地平線に現われる、または消える時刻を示します。これらの針の前方向または後方向の動きの日差は知覚できないほどです。これらの表示はその場所の経度や緯度によって



日出・日没のメカニズム

日出カム・モスクワとナイロビ



変わり、地球上のそれぞれの場所で別々に計算されます。ただし、その範囲は、北緯56度から南緯46度までの間です。

日出・日没を指す針は、マイクロメートル単位で加工されたカムで作動しています。毎日変わる表示の正確さを裏付けるのに必要です。標準カムはジュネーブの緯度・経度に基づいて計算されていますが、それぞれの都市に合わせてカスタマイズされたカムと差し替えることが可能です（ただし北緯56度以北、南緯46度以南を除く）。こうして、それぞれのオーナーのニーズに合わせ、時計を調整することができます（モスクワ、ナイロビのサンライズ・サンセット用カムの例参照）。

時刻合わせ

ロイヤル オーク モデルでは、必ずまずリューズを緩めてください。

リューズをポジション **C** に引き出します。時刻合わせをする時はリューズを前後に回すことができます。合わせたい時刻まで慎重に針を進めながら、正確に時刻合わせをしてください。

注意: 12時と24時を間違えないように気をつけてください。

時間帯の調整

時刻修正はメカニズムや時計の表示にリスクを与えることなく行えます。

24時以降に針を戻す必要がある場合、日付と曜日が1日進みます。この日付の差はすぐにもとに戻るので修正をする必要はありません。次の日から正しく表示されます。

注意: サンライズ・サンセット時刻および南中時刻（真太陽時における正午）はお持ちの時計がカスタマイズされている都市にのみ有効ですので、ご旅行時はご注意ください。

ムーブメントの巻き上げ

ロイヤル オーク モデルでは、必ずまずリューズを緩めてください。緩めるとリューズは自動的に **B** 位置にセットされます。

時計が停止した場合は、リューズを（**B** 位置で）最低30回回転させることにより、巻き上げることができます。その後は手首の動きにより、自動巻機構が時計の正常な作動を持続させます。

ロイヤル オーク モデルでは、作業後は防水性を保つためにリューズを **A** 位置までしっかりと締めてください。

永久カレンダーの表示合わせ

事前の注意

修正ボタンを不適切に使用すると、表示が不正確になる恐れがあります。必要な場合のみ、下記の指示を遵守して、修正ボタンを使用してください。



時計が止まったときの修正 (3日以内の場合)

ロイヤル オーク モデルでは、必ずまずリューズを緩めてください。

リューズを **C** 位置にし、正確な表示が得られるまで、針を進行方向に回します。日付を変更すると、他のすべての表示も同期して変わります。

注: 不注意で表示が1日か2日進んだ場合は、修正ボタンを使用するよりは、その間、時計を止めたままにしてください。

時計が止まったときの修正 (4日以上の場合)

注意

ロイヤル オーク モデルでは、必ずまずリューズを緩めてください。

修正ボタンを使う前に、リューズを **C** の位置に引き出し、時計回りに日付の表示針を1日進ませます。その後、針を午前3時の位置に合わせます。この状態では、あらゆるメカニズムが休止状態になるので、修正ボタンを押しても暦が損傷するおそれはありません。

修正ボタンを操作するときは、付属の器具を使い、慎重に、かつ十分にボタンを押してください。

修正の仕方(午前3時に)

次の順序で調節します。

1. 日付、曜日、月および閏年の修正は、**10時00分の位置にある修正ボタンD**で行います。

注：閏年の修正については、数年の修正が必要なことがあります。

2. 月相の修正は、**8時30分の位置にある修正ボタンE**で行います。

注：月相の表示を変更するときは、修正ボタンを2回押してください。

月相の修正方法：

- a) 満月の日に、月のイラストを月相表示窓の中央に合わせます。
- b) 前回の満月の日付を決定します。修正ボタンを前回の満月の日付に1回、今回の満月の日付に1回押します。

3. 曜日の修正は、**4時の位置にある修正ボタンF**で行います。

4. 日出、日没、均時差は、何もしなくても修正されます。永久カレンダーを調整すれば、これら3つの表示は同時に修正されます。

5. 時計の時間を合わせます。

現在時刻(深夜0時前)が時計の表示時刻(午前3時)よりも前の場合、デイデイト表示が1日進んでいます。これは一時的なもので修正は不要です。翌日には再び正確な表示に戻ります。時刻を正確に調整したい時は、リュウズを回転させて、合わせたい時刻まで針を進ませてください。

注意：サンライズ・サンセット時刻および南中時刻(真太陽時における正午)はお持ちの時計がカスタマイズされている都市にのみ有効ですので、ご旅行時はご注意ください。

ワインディングボックス

巻き上げが中断することのないよう、時計は2個の乾電池で作動する自動ワインディングボックスと共にお届けします。

修正用器具

修正ボタンを操作するときは、なるべく付属の修正用器具を使用してください。



保証とお手入れ

時計の保証、および推奨するお手入れ方法に関する全ての詳細な情報は、証明書および付属の保証書に記されています。

